

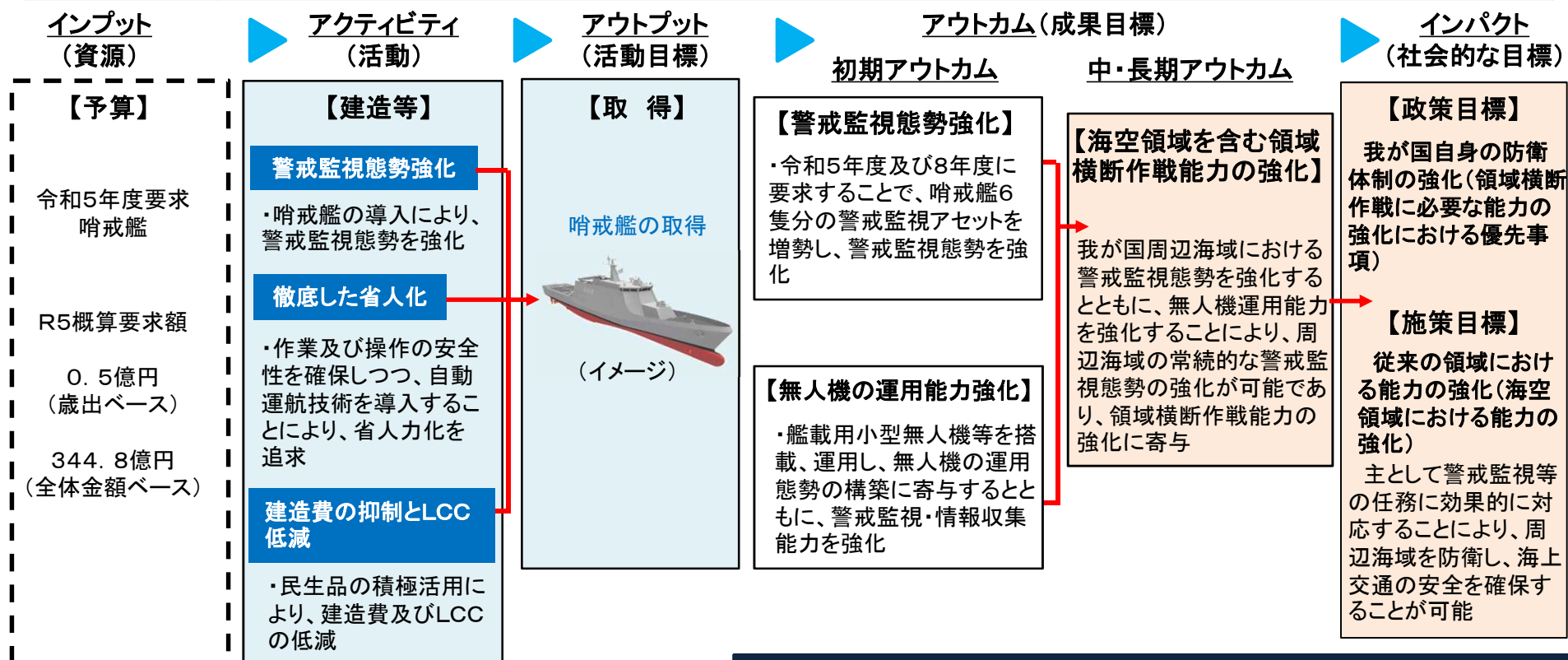
哨戒艦

本事業は、我が国周辺海域における警戒監視態勢を強化するため、哨戒艦6隻を新たに取得するものである。

現状・課題

対象国海上戦力の量的、質的向上が顕著であり、我が国周辺海域における活動の活発化及びエリアの拡大に伴い、我が国の警戒監視の所要が増大している。これらの増大する平素の警戒監視の所要等に対応するため、護衛艦に代わって対応するアセットが必要である。

現状では、警戒監視は、護衛艦、ミサイル艇、掃海艇等の各艦艇で対応しているが、新たに警戒監視に対応する艦艇として、十分な隻数が確保可能な抑制された船価である哨戒艦を整備する必要がある。



年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10
整備内容	←	建造 (4隻)	→		建造 (2隻)	→

総合評価

本事業により、広域な我が国周辺海域における警戒監視態勢の強化が可能となる。警戒監視アセットとしての水上艦の拡充は、警戒監視態勢の強化に寄与するものであり、海上交通の安全の確保に資することから、国民の生命と財産を守るという社会的ニーズを的確に反映した必要な事業である。また、政策体系上の位置付けとも一致し、かつ、必要性・効率性・有効性の観点からも妥当と評価できることから、令和5年度からの着手が適当であると判断する。